



大久保小だより



平成30年2月1日第12号

さいたま市立大久保小学校

さいたま市桜区五関2-1

048(854)7636

男子156名女子123名計279名

学校教育目標 **かいっぱい かしく やさしく たくましく**
～ふるさとを愛し、志高く生きる、心優しい大久保の子ども～

～ 情けは人の為ならず ～

校長 相川 光彦

節分、そして立春、春も間近とはいえ、まだまだ寒い日が続いています。しかし、子どもたちは休み時間になると冷たい風の中、教室から外に出て、鬼ごっこ、長縄跳びの練習、ボール遊びと、寒さに負けずに元気に校庭を走り回っています。また、地域の皆様、保護者の皆様、ボランティアの皆様には、寒い中、子どもたちの安全のために、献身的なご協力をいただき、深く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

インフルエンザが大流行し、学級閉鎖も行いました。さいたま市も最低気温氷点下9度と稀にみる低い気温を観測しました。校庭の雪も解け残っておりますが、インフルエンザ様疾患は、下火になりつつあります。

さて、先日、大雪が降りました。子どもたちが走り回っても、雪だるまを作っても真っ白な校庭。太陽の光の中とても美しく感じました。雪が降って、嬉しいのは、子どもだけで、大人は、通勤や雪かきの心配があります。近年まれにみる大雪の影響で、電車やバスが遅れていました。

学校の校舎回りの子どもの通る道を職員が、総出で雪かきをしましたが、学校周囲の道路にまでは、手が回りません。ところが、学校の裏側は、すでに除雪されています。歩道も除雪に人が出て来ています。

学校の裏の道路関係の会社「前田道路」の方が、学校の北側の道路や子どもたちの通学路の除雪をしてくれました。正門前の歩道も、除雪してくださいました。本当にありがたいことです。

市内にはまだまだ、除雪をしていない道路やアイスバーンになっている道路などつるつるに滑って危険なところも多くあります。高齢化が進み、雪かきをすることができない家もあると思います。しかし、大久保地区の道路は、各ご家庭での雪かきにより、歩きやすくなっています。子どもたちにとって、大人の背中が、偉大な教材です。百の言葉よりも、一つの行動が、子どもたちの心に響くのです。そして、人格を形成していくのです。きっと大久保地区で育った子どもたちは、地域の人たちに支えられていることを肌で感じていることでしょう。本当にありがたいことです。

小さい頃、母たちの会話の中で、「お蔭様で」という言葉が多く使われていたように感じます。よく知らない人にも、「お陰様で」と言っているのを聞いて、“この人のお陰じゃないよ”と思った子どもはたくさんいたと思います。人は、支え合って暮らしていることを昔の人は、心の底から感謝していた証なのだと思います。

学校評価への協力ありがとうございました。『体罰・不適切指導』『いじめ・不登校』などの心配は少ない現状ですが、まだまだ担任と保護者が協力して取り組んでいくことが多くあります。担任をはじめ教職員一同、一人ひとりの子どもに寄り添い、希望あふれる教育を推進し、「明日も学校に行きたい」と思える大久保小のために保護者と力を合わせて、子どもたちのよさを引き出し、「誉めて伸ばす教育」を推進して参ります。教育相談日ではなくても相談したいことがありましたら、いつでも学校にお越しください。